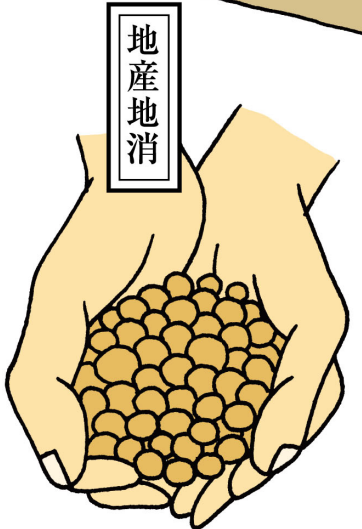


伝統製法

「特集」みはらっせの
ご当地調味料

手作り

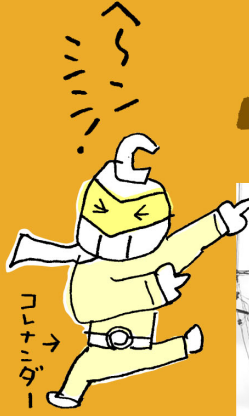
その味に深みアリ…三原と世羅の“愛しの名脇役”たち



地産地消

醤油や味噌、ソースにドレッシング…今回はそんな身近にある名脇役の調味料たちをご紹介します。時間を重ねて、じっくり発酵させた醤油や味噌の伝統調味料の味わい。特産品を使った新しい調味料など、味の向こうには造り手の手間や思いが詰め込まれている。食欲の秋は、新しいレシピにも挑戦したくなる季節。いつもの味に、みはらっせの調味料を“隠し味”にどうぞ。

みはらっせの
コレナンター その 11



「コレナンター」はみはらっせエリアで発見した、読者のみなさんの「これ何だ?」に編集室がお応えしていくコーナーです。



世羅町宇津戸のシンボル、旧宇津戸郵便局。モダンな洋風建築が往時の賑わいを感じさせる。 [マップP7-A]

銀の道に残るコテ職人のモダンレリーフ

宇津戸のハイカラ郵便局

Q 世羅町の宇津戸という古い町でステキな郵便局を見かけました。ここは昔の何かの街道だったんでしょうか?

(セラビイ母さん・36歳・尾道市)

A そうです。ここは昔、銀の道と言われ、尾道、三次、石見銀山を結ぶ重要な街道でした。宇津戸はその途中の宿町だったのです。いまは静かですが、昔は旅館や商家が建ち並ぶ賑やかなところだったようです。近くの観音寺には石州街道と出雲街道への分かれの道標が残っています。このモダンな旧宇津戸郵便局は、昭和か大正生まれのハイカラ建築です。二見、石造りの洋風建築のようですが、ファサードの装飾は全て左官によるコテ仕上げで、れっきとした木造建築です。楕円の郵便マークや正面入り口の飾りなどの見事なレリーフは当時の左官職人のレベルの高さを物語っています。この宇津戸、獅子舞でも有名なところですよ。

(編集室たそがれ清兵衛)



コテ仕上げによる郵便マークのレリーフ。



歴史を感じる宇津戸の町並み。観音寺境内より望む。